

- 問1

明治政府が、欧米諸国に対抗できる経済力をつけるために、西洋の近代的な技術や機械を導入して産業の育成を図った一連の政策を何といいますか。（2026年 群馬県公立入試 類似）

1. 文明開化

2. 地租改正

3. 富国強兵

4. 殖産興業
- 問2

1873年に始まった地租改正では、当初、地租の税率は地価の3パーセントと定められていました。しかし、1877年に政府はこの税率を2.5パーセントに引き下げました。この措置が取られた政治的な背景として最も適切な説明はどれですか。（2024年 山梨県公立入試 類似）

1. 地租改正に反対する農民一揆が各地で激化し、さらに不平士族の反乱も重なったため、国民の不満を和らげて政府の基盤を安定させる必要があった。

2. 欧米視察から帰国した岩倉使節団が、諸外国の税率に合わせるよう提言したため、国際基準に基づき税率の調整が行われた。

3. 徴兵令の施行によって農村の労働力が減少したため、その補償として税負担を軽減し、農業生産力を維持することが目的であった。

4. 納税方法を従来の物納から金納へと変更したことで、政府の税収が予想を大幅に上回ったため、余剰分を国民に還元することにした。
- 問3

1871年に行われた大規模な政治改革について、当時の状況を記した記録によると、旧藩主たちはそれまでの地位を失って東京への移住を命じられ、代わりに大山綱良のような官吏が「県令」として政府から派遣されました。この改革に対し、薩摩藩の島津久光のように強い不満を抱く有力者も現れました。この改革が実施された最大の目的として、最も適切な説明はどれですか。（2024年 北海道公立入試 類似）

1. 武士の特権を廃止し、四民平等の社会を実現して国民の不満を抑えるため

2. 土地の所有権を明確にし、地価に応じた現金を徴収することで政府の財政を安定させるため

3. 中央政府による全国の直接支配を確立し、強力な中央集権国家を築くため

4. 満20歳以上の男子に兵役の義務を課し、近代的な軍隊を組織するため
- 問4

山口県では明治維新から150年を記念し、郷土の先人たちの功績を振り返る取り組みが行われました。その中で、長州藩の代表として、坂本龍馬の仲介により薩摩藩と薩長同盟を結び、後に明治政府の参与や岩倉使節団の全権副使を務めた人物として紹介されているのは誰ですか。（2016年 山口県公立入試 類似）

1. 勝海舟

2. 板垣退助

3. 木戸孝允

4. 大隈重信
- 問5

1871年の廃藩置県に関する略年表の説明において、新政府が地方統治の実権を完全に掌握するために導入した仕組みの背景として、最も適切な説明はどれですか。（2025年 和歌山県公立入試 類似）

1. 武士の特権を保護し、全国の不平等士族が政府に対して反乱を起こすのを未然に防ぐため。

2. 欧米諸国の制度にならい、三権分立を地方レベルで実現するために知事と議会を分離させるため。

3. 各藩が抱えていた多額の借金を整理するため、地方自治権を旧藩主に返還させる必要があったため。

4. 藩知事に任命されていた旧藩主から統治権を回収し、官僚である府知事・県令が政府の意向を反映させるため。
- 問6

明治政府が1872年に群馬県に開設した、輸出用の高品質な生糸を生産するための官営模範工場の名称として正しいものを選びなさい。（2020年 大分県公立入試 類似）

1. 長崎造船所

2. 八幡製鉄所

3. 足尾銅山

4. 富岡製糸場
- 問7

明治政府が岩倉具視を特命全権大使として欧米諸国へ派遣した使節団の、主な目的と活動内容を説明したものとして最も適切なものはどれか。（2017年 千葉県公立入試 類似）

1. 開国を求める欧米諸国に対し、鎖国制度の維持を継続するための外交交渉

2. 江戸時代に結ばれた不平等条約の改正に向けた予備交渉と、先進的な制度や文化の視察

3. 下関条約の調印に向けた清との和平交渉と、領土割譲に関する最終確認

4. 日英同盟の締結に向けた軍事的な協力関係の構築と、最新兵器の導入検討
- 問8

明治政府が地租改正において、税の基準を「収穫高」から「地価」へ、納入方法を「米（物納）」から「現金（金納）」へと変更した最大の目的は何ですか。（2017年 神奈川県公立入試 類似）

1. 江戸時代の石高制を維持したまま、農民が自由に農作物を売買できるようにするため。

2. 土地の売買を厳しく制限することで、農民が土地を手放して都市へ流出するのを防ぐため。

3. 作物の豊凶や米価の変動に左右されず、政府が安定した税収を得られるようにするため。

4. 小作人の税負担を大幅に軽減し、農村における貧富の差を解消するため。
- 問9

明治初期の経済状況を記録した統計資料によると、当時の米の市場価格は年や時期によって激しく上下していました。このような不安定な状況を解消し、近代国家の基礎を固めるために実施された地租改正の主な目的として、最も適切なものはどれですか。（2023年 広島県公立入試 類似）

1. 農村での現金流通を抑え、人々の生活を自給自足に戻すため

2. 豊凶や米価の変動に左右されず、政府の税収を安定させるため

3. 土地の売買を全面的に禁止し、すべての土地を国有化するため

4. 米の収穫量を増やすことで、海外への輸出額を増大させるため
- 問10

明治政府が実施した地租改正の仕組みについて述べたものとして、最も適切なものはどれですか。（2021年 秋田県公立入試 類似）

1. 土地の耕作者が、地価の3%に相当する額を、政府の指示に従って米または現金で選択して納める。

2. 土地の所有者が、収穫高を基準として算出された金額を、物価の変動に合わせて現金で納める。

3. 土地の所有者が、その土地の価格（地価）の3%を、豊凶に関わらず現金で納める。

4. 土地の耕作者が、その年の収穫高の3%を、地券の交付を受けた後に米で納める。
- 問11

1873年に始まった地租改正に対して農民の反対一揆が激化したことを受け、1877年に政府が実施した負担軽減策はどれですか。（2014年 愛媛県公立入試 類似）

1. 地租の納税義務を土地の所有者から耕作者に変更した

2. 地価の算定をやり直し、土地の評価額を半分にした

3. 地租の税率を地価の3%から2.5%に引き下げた

4. 地租の納入方法を貨幣から再び米による物納に戻した
- 問12

明治初期、岩倉使節団に同行してアメリカへ留学した、日本最初の女子留学生の一人で、帰国後に女子英学塾（現在の津田塾大学）を創設するなど、日本の女子教育の先駆けとなった人物はだれですか。（2019年 徳島県公立入試 類似）

1. 津田梅子

2. 吉野作造

3. 間宮林蔵

4. 湯川秀樹
- 問13

1867年から1925年までの日本の近代化の過程を記した年表において、王政復古の号令から戊辰戦争の発生へと至る一連の動きが見られます。この戊辰戦争が勃発した背景や経緯についての説明として、最も適切なものはどれですか。（2020年 香川県公立入試 類似）

1. 旧幕府軍が天皇の権威を否定し、徳川慶喜を再び將軍とする新たな幕府を江戸に開こうとした。

2. 明治新政府の徴兵令に反対した士族たちが、西郷隆盛を担いで鹿児島で大規模な反乱を起こした。

3. 新政府が行った地租改正や学制の導入に対し、生活が苦しくなった農民たちが各地で暴動を起こした。

4. 新政府が徳川氏を政治から排除しようとしたことに旧幕府側が反発し、京都での武力衝突をきっかけに全国へ広がった。